

事務事業名		運動公園等指定管理事業				評価区分(事前評価・事後評価)		事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	4	豊かな心を育む教育・文化づくり			担当組織	担当部	観光スポーツ部	担当課	スポーツ立市推進課
	政策	3	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり			担当係	管理係	担当課長名	関口 吉丸	
	施策	1	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備			新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	3	スポーツ施設の整備と運営			実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	事業区分				
	15366	一般	10	5	2	運動公園等指定管理事業				
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	H21年度～ 年度		根拠法令 条例等	佐野市体育施設条例及び同条例施行規則 佐野市都市公園条例及び同条例施行規則		市単独事業・国県補助事業		市単独事業
							任意的事業・義務的事业		任意的事業	
							実施方法		指定管理者	
							事業分類		施設維持管理事業(市以外が主体)	
							リーディングプロジェクト		該当	
							市長マニフェスト		該当なし	

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		平成28年度実績(平成28年度に行った主な活動内容)					
<ul style="list-style-type: none"> <li>運動公園、栄公園、佐野武道館の3施設を指定管理者により管理する。、市営大橋町プールは平成27年度で廃止。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理者:さのスポーツマネジメントグループ。</li> <li>施設の修繕(1件5万円以上)。</li> <li>指定管理業務の監視。</li> <li>指定管理者への指導、助言。</li> </ul>					
活動指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)
指定管理施設数		施設	4	4	4	3	3
修繕件数		件	30	37	44	32	40

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

<ul style="list-style-type: none"> <li>市民。</li> <li>指定管理施設。</li> <li>指定管理者。</li> </ul>		対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)
		人口	人	123,182	122,582	121,522	120,683	120,683
		指定管理施設数	施設	4	4	4	3	3
		指定管理者数	団体	1	1	1	1	1

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

目的		成果指標						
<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者が安全で快適に利用できる施設・設備環境の整備が図られる。</li> </ul>		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(目標)	
		指定管理施設利用者数	人	285,986	239,493	262,331	258,321	265,000

④ 結果(どのような結果に結びつけますか?)

施設を有効活用している		上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(目標)
		指定管理者の自主事業数	事業	-	41.0	42.0	44.0	46.0

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(目標)					
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円	559	399	620	979	968					
	一般財源	千円	122,685	124,834	124,512	122,389	120,129					
	事業費計(A)	千円	123,244	125,233	125,132	123,368	121,097					
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費		
			消耗品費	292	消耗品費	65	消耗品費	156	光熱水費	146	修繕料	10,443
			光熱水費	191	光熱水費	202	光熱水費	189	修繕料	10,378	手数料	27
修繕料			8,187	修繕料	11,273	修繕料	11,845	火災保険料、手数料	301	火災保険料	297	
火災保険料			292	火災保険料	286	火災保険料	293	業務委託料	729	検査委託料	500	
業務委託料			467	業務委託料	696	業務委託料	487	運営委託料	96	運営委託料	107	
運営委託料			116	運営委託料	53	運営委託料	97	指定管理料	110,717	指定管理料	109,501	
指定管理料			109,420	指定管理料	112,340	指定管理料	112,065	機械等借上料等	5	庁用器具費	222	
機械等借上料等			3,596	機械等借上料等	320	機械等借上料等	5	工事請負費	999			
人件費			人	3	3	3	3	3				
正規職員従事人数	人	3	3	3	3	3						
のべ業務時間	時間	100	100	100	100	100						
人件費計(B)	千円	389	394	389	384	384						
トータルコスト(A)+(B)	千円	123,633	125,627	125,521	123,752	121,481						

事務事業名	運動公園等指定管理事業	担当部	観光スポーツ部	担当課	スポーツ立市推進課	担当係	管理係
-------	-------------	-----	---------	-----	-----------	-----	-----

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	・平成21年4月から運動公園、栄公園、市営大橋町プール(平成27年廃止)、佐野武道館の4施設を指定管理とした。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	・各種団体による大会等による利用が年々増加している。 ・施設や設備の不備による事故について、公的責任のほかに担当者個人の責任が問われるようになってきた。 ・市営大橋町プールが施設の老朽化により改修に多額の費用を要するため平成27年廃止になっ
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	・老朽化した施設の整備・改修を実施する。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	・身近で円滑な施設利用ができることにより、生涯にわたりスポーツ・レクリエーションを続けることができる。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	・体育施設を設置することにより、より多くの市民、団体がスポーツ・レクリエーション活動を行いやすくなる。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	・体育施設が円滑に利用されることで市民の生涯スポーツ・レクリエーションの振興と健康維持、体力向上が望めるため、妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案	・各施設において老朽化が進んでおり、これらの施設を整備することにより安全で快適な施設の提供が図られ、利用者の増加が見込まれる。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	事業費の削減余地がある	理由・改善案	・指定管理者制度を導入したことにより、事業費及び人件費の削減ができた。 ・平成29年度から指定管理者の更新により事業費の削減が図られる。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担は適正である	理由・改善案	・施設利用者から利用料金を徴収しているため適正である。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
	・市民がスポーツ・レクリエーション活動を行うことができる施設を失うこととなるため、廃止、休止はできない。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
事業のやり方改善(成果向上の見直し) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) ・老朽化した施設の整備・改修を実施する。	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上			○	維持			×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上			○																					
	維持			×																					
	低下		×	×																					